

総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名 大阪府 受託団体名 生涯スポーツ振興課(大阪府広域スポーツセンター)

実践テーマ 子どものスポーツ活動の充実

～考えよう、子どもの体力とスポーツ環境～

【テーマ設定の理由】

特定非営利活動法人長野総合スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)では、子どもを対象とした活動の充実に取組んできたが、体力・運動能力調査において全国平均を下回るなど、まだ地域の課題に十分に答えきれていない。本事業は、このような地域の課題を解決するため、クラブが核となり、地元住民や学校との連携により、誰もが、それぞれの興味・関心に応じて気軽にスポーツに親しむことのできる環境を整備し、スポーツ好きの子どもを育成するとともに、子どもの体力・運動能力の向上を図り、あたたかく活力あふれるまちづくりに寄与することを目的に実施する。

実践クラブ評価委員会

赤松喜久(大阪教育大学教授)

松田雅彦(大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭)

谷口正(大阪市体育指導委員協議会理事) 上田俊次(府立門真スポーツセンター館長)

課題解決のために連携をとった機関・団体

■河内長野市

■長野小学校、同校PTA

■小山田小学校、同校PTA

■長野中学校、同校PTA

■大阪大谷大学

■大阪教育大学

【上記機関・団体と連携をとった効果】

それぞれの視点で、今回の課題を共通の課題とし、その課題解決に向けて連携して取り組めたこと。また、大学という専門機関と連携することで、客観的な視点で取り組み、学生という人材を活用できたことで、より連携を図ることができた。

実践クラブ名 特定非営利活動法人長野総合スポーツクラブ

【クラブ概要】

・設立年月日 平成 16 年 4 月 29 日 設立

・クラブ所在地 大阪府河内長野市西代町14-1 長野総合スポーツクラブ内

・クラブの特色 多種目、専用クラブハウス、マスコットキャラクター

・クラブマネジャーの活動状況 常勤、非常勤とも手当てあり

・会員数(H21.7.1現在) 880 人 ・定期活動種目数 19 種目

・会費の種類と金額

■基本

高校生以上: 1,500円/月 + 保険 1,600円/年

子ども: 1,000円/月 + 保険 600円/年

■種目別:別途

・平成21年度総予算額 2,200 万円

実践プロジェクト① 子ども体力キャンペーン(シンポジウム)

◆プロジェクトのねらい

トップアスリートとのふれあいを通じて、スポーツの有用性(経験に裏打ちされた、身体能力を高めることの重要性、スポーツから学ぶチームワーク、あきらめない気持ちなど)についての認識を深め、地域における子どもの体力とスポーツ環境の向上に取り組む機運を高める。

◆実施概要

- ・基調講演: 森島寛晃(セレッソ大阪アンバサダー)
- ・シンポジウム: 「考えよう! 子どもの体力とスポーツ環境」

◆参加者数 168名

◆活動の様子



◆評価

参加者アンケートでは森島氏が夢の実現に向けてあきらめず努力したことに感銘を受けたとの回答が多かった。また、体力向上ためには、スポーツ施設の整備や継続的にスポーツを行う重要性を認識したという回答が多いことから、地域における子どもの体力とスポーツ環境の整備という当初の目的を達成できた。

実践プロジェクト② 子ども元気スポーツ講習会

◆プロジェクトのねらい

地域の子供たちがスポーツを行うきっかけを創出し、継続的に気軽にスポーツに親しむことができることを目的に、各種スポーツ講習会、スポーツ教室を実施する。

◆実施概要

11月、2月に計24回実施、各月とも7種目(ミニバスケットボール、バドミントン、卓球、テニス、スポーツチャンバラ、プレバトン、バレーボール)に及ぶスポーツ講習会を実施した。

◆参加者数 37名

◆活動の様子



◆評価

普段スポーツに接しない子ども達を、スポーツに参画させるきっかけづくりの難しさを痛感した。地域の校区に縛られない、広報や募集のあり方について検討する必要性を感じた。

実践プロジェクト③

夏季キッズスポーツ教室、夏季トータルスポーツ教室

◆プロジェクトのねらい

子ども達の生活リズムが乱れがちになる夏休みの前半と、2学期に向けて生活のリズムの回復を図る夏休み後半の2期に分けて、午前中にスポーツ教室を実施する。

◆実施概要

第1期 7/21～7/31、第2期 8/17～8/28 (9:00～12:00)

場所:長野小学校体育館、小山田小学校体育館 各会場40回

内容:マット、跳び箱、ドッジボール等様々なスポーツとトレーニングを行った。

◆参加者数 2,058 名

◆活動の様子



◆評価

参加者アンケートでは、満足度が非常に高く、好評であった。「だらけがちな夏休みが充実した」「来年度も是非参加したい」との意見が多数あった。しかし、夏休み中とはいえ、学校課業時間帯に外部の団体が活動することに様々な課題があることが判明した。

実践プロジェクト④

バレーボール教室、ミニバスケット教室

◆プロジェクトのねらい

初心者だけでなく、一定の経験のある子ども達にとっても刺激となるように、大阪大谷大学の大学生に指導者として参画してもらい、戦略的かつ専門的な技術指導によりスポーツに対する好奇心を喚起させる。

◆実施概要

時期:21年10月～12月 (17:00～18:00)、 場所:長野小、小山田小学校体育館 各会場24回

内容:放課後の時間帯を活用して、バレーボール、バスケットボールの専門指導者による技術指導とトレーニングを行った。

◆参加者数 356 名

◆活動の様子



◆評価

放課後の学校使用は警備上の問題で、当初予定の90分から、60分に短縮されたが、参加者の満足度は高く、「運動が好きになった」、「運動技能が向上した」の意見が多数あった。また、学生側も子ども達への指導を通じ、自ら学ぶよい機会となった。

実践プロジェクト⑤ 子ども体力向上に関する調査

◆プロジェクトのねらい

体力測定を通じて、子ども達自身に体力向上と、運動やスポーツに親しむことの動機付けをし、地域におけるスポーツに対する機運を喚起する。

◆実施概要

日時:10月12日、 場所:長野中学校、内容:体育館、グラウンドを使用して校区小学生を対象に体力測定及び生活習慣調査を実施した。

◆参加者数 109名

◆活動の様子



◆評価

体力測定は、大阪大谷大学の協力をもとに実施した。子ども達が参加しやすい雰囲気を学生が作ったため、子ども達は力むことなくリラックスして、本来の体力が測定できた。この結果を地域のクラブ運営に生かし、また継続して体力測定を実施することによってPDCAサイクルを実践する。

その他の取組

- ・実践事例集の作成

本事業の成果

本事業の目的を踏まえた上で、クラブの新規事業として取り組むのではなく、市や関係学校との協力の下、既存の事業について新たな時間帯や実施手法を拡充することを進めた結果、課題解決の一方策を提示するなど、一定の成果を得た。

本事業の課題と今後の取組

今後、学校管理上の問題や新規参入者の呼び込みなど諸課題の解決を図り、取り組んだ時間帯や手法等を活用したスクールを展開することにより、クラブ活動が充実するよう工夫したい。

当クラブは設立6年目を迎え、会員数においても、府下のクラブでもトップクラスにあり、多数のスクール等を擁した成熟したクラブである。よって、スクールの指導内容の充実が目が行きがちであるが、まだまだ地域としっかり繋がっていく余地があり、本事業の目的である子ども達のスポーツ活動の充実という面的側面からも、継続してアプローチしていきたいと考える。